

科目	学年・小学科	単位数
政治・経済	3年・全学科	2
教科書	数研出版「政治・経済」	
副教材	東京法令出版「政治・経済資料2019」	

## 1. 学習目標

時代とともに変化する現代の政治・経済について主体的に考察して理解を深めるとともに、人間として在り方生き方を探求し、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

## 2. 学習方法

○授業：教科書、資料集を使いながら板書、説明、必要に応じ演習プリント等を活用して進める。学習内容の確認と補足のため、問題プリントにも取組む。NIE教育のように、必要に応じ新聞の記事等を印刷して配付し、現代の政治・経済・社会情勢に関心を向けるとともに、メディア・リテラシーを身に付ける。また、適宜テーマを設定して、互いの意見を交換し、自分の考えをまとめる機会を設ける。

○予習：教科書や資料集を熟読し、次の授業に臨む。

○復習：授業で学習した基本的な用語や概念をノートで確認し、学習内容の定着化をはかる。

○課題：必要に応じ演習プリント等を課題として課す。

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題に関心を高め、意欲的に追求しているか。社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて、参加、協力する態度を身に付けているか。
② 思考・判断・表現	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題から課題を見出し、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、公正に判断するとともに、適切に表現しているか。
③ 資料活用の技能	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた資料や情報を効果的に活用しながら学ぶ姿勢を身に付けているか。
④ 知識・理解	現代社会の政治、経済、社会、国際関係などに関わる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。

科目名	学年・小学科	単位数
政治・経済	3年・全学科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1編 現代の政治	第1節 民主政治の基本 原理	政治と法 民主政治のあゆみ 民主政治の基本原則とその展開 政治体制の比較			○	○		授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		第2節 日本国憲法と基本 的人権	日本国憲法の基本的性格 基本的人権の保障 日本国憲法の平和主義			○	○		
		第3節 日本の政治機構	国会のしくみと役割 内閣と行政機構 裁判所のしくみと人権保障 地方自治のしくみと住民生活			○	○		
		第4節 政治参加と民主 政治の課題	戦後政治と政党 選挙制度のしくみ 世論と情報化社会	○	○				
前期末	第2章 現代の国際政治	第1節 国際政治の動向	国際社会の特質 国際社会と国際法 国際社会の組織化 戦後国際政治の展開			○	○		●現実の選挙に対し、その争点や結果について発表し、一定のコメントができる。 ●メディアリテラシーを意識しながら、正しく情報に接することができる。 ●国民国家と比較して国際社会の特質を理解できる。 ●国際連合などの国際組織の役割とその課題を理解できる。 ●戦後国際政治の流れを概観する。 ●主な国際紛争の実態を調べ、その性質を歴史的・国際的視点から評価する。 ●国際社会における日本の位置を把握し、期待される役割を考察できる。
		第2節 国際社会の課題と 日本の役割	核兵器の廃絶と軍縮問題 地域紛争と人種・民族問題 日本の国際的地位と役割	○	○				
		第1節 経済活動の意義と 経済体制	人間と経済活動 資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体			○	○		
後期中間	現代の経済	第2節 現代経済のしくみ	市場経済のしくみ 物価の動向 国民所得と経済成長 財政のしくみと租税 金融のしくみと働き			○	○		●身近な商品の物価の動向に敏感で、その背景を推察し考えることができる。 ●金融・財政（+税）のしくみと役割を知り、日常の経済生活との関連を考察する。 ●国民所得や経済成長の概念を理解し、本当の豊かさとは何かを考察できる。 ●高度経済成長後の産業構造の変化を資料で理解し、問題点を考え討論できる。 ●消費者問題の具体例を列挙し、賢明な消費者のあり方を考えることができる。 ●日本の労使関係の特色を理解し、直面する労働問題について考えることができる。 ●急速な少子高齢化の進行が社会保障制度に及ぼす影響について考察する。
		第3節 日本経済と福祉の 向上	戦後日本経済のあゆみ 中小企業と農業・食料 公害防止と環境保全 消費者問題と消費者保護 労使関係と労働市場 少子高齢社会と社会保障	○	○				
		第1節 国際経済の動向	貿易と国際収支 国際経済のしくみ				○	○	
後期末	第2章 国民経済と国際経済	第2節 国際政治の課題と 国際協力	地球環境と資源・エネルギー問題 発展途上国の経済と経済協力 国際経済における日本			○	○		●戦後国際経済の流れと特徴（特に先進国と発展途上国）を理解できる。 ●日本と東南アジア、欧米との貿易（経済摩擦）摩擦の実態を比較し発表できる。 ●地球環境問題の実態を調べ発表できる。 ●南北問題の実態を知り、格差は正の動きとその成果を吟味できる。 ●国際社会での日本経済の位置を客観的資料で把握し、国際経済への貢献を考える。